

今日は3月11日

東日本大震災&原発事故から10年 私たち組合員の想いを届けます

汚染水はたまり、汚染土がフレコンバックに詰められ、被害に遭った住民の田畑を埋める。永年生きて来た歴史・土地を「原発事故」が奪った。国と東電の責任は重大です。フクシマを忘れない！ さよなら原発！ 核のない社会を世界の流れに！【FO】

東京新聞が公募した「平和の俳句」には被災地に生まれ生活している者だからこそ表現できるつらい思いや理不尽な現実への怒りがある。事故原因をあいまいにし、東電・政府・官僚の誰一人責任を負わない現状。フクシマの哀しみ、つらさ、怒りに心を寄せ、声を上げ続けることが、私たちの明日を創る力になると思う。【YS】

毎月11日の定期情宣活動を讃えて3句【YS】

フクシマを訴えつづけて九年十月くねんとつき（2021年1月作成）
フクシマを忘れない声 120回なりわいゲンパツ反対生業返せ
目の前で波にのまれた子を思う母の哀しみ十年の日々

2月13日夜の地震にはビックリ、また10年前の大地震かと思っただけでした。また事故になったらコントロールできない原発は日本を滅ぼすことになると思っていました。【IR】

地震の度に「××原子力発電所は異常ありません」といったことを気にしなければならないなんておかしいですよ。脱炭素化は再生可能エネルギー使用拡大で達成されるべきで、断じて原子力使用は不可です。【KA】

事故から10年経っても、全ての原発を止めようという方針が確立していないことは大変残念です。避難住民への補償、被ばく労働問題、運転停止の闘いを共同で！【KH】

原発事故から10年。もう事故前の生活に戻ったと思っていたが、停電対策にと購入していたポータブル電源が、2月13日の福島県沖地震で停電が起きたとき活躍した。やはり10年前の意識を持たないと。【KK】

福島原発事故から10年だが、収束は程遠く、生活基盤を失った被害者を暖かく迎える古里は無い。2月13日夜に震源地福島沖の地震が発生した。老朽原発再稼働反対！ 原発いらない！ 命が大事！【KT】



全造船関東地協労働組合 一人でも誰でも入れる労働組合 よこはまシティユニオン

横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505 TEL&FAX 045-575-1948 ホムページ <http://yuniyoko.sakura.ne.jp> 【2021年3月11日】

私たちは、フクシマを忘れません。

10年も経つのに自然豊かな福島に戻れない人たちが4万人近くいるのです。甲状腺の異常値に不安を抱える子どもたちが250人もいるのです。こんな不幸を作り出す原発をなぜ廃止しないのでしょうか。闘いましょう！【AM】

どこかで聞きました。人ひとりの命は地球より重いと。命を奪い続ける原発絶対反対！【IA】

経産省は許認可権で地産地消の電力会社を囲い込み、外郭団体の電力広域的推進機関が昨年末から年初に掛けて市場電力12倍～20倍の高騰を放置し地域電力を潰す、いわゆる民間寡占化市場での卑劣な手口を政府がやる許しがたい。【KK】

時に立ち止まったり寄り道したり選手交代しても、皆があきらめなきゃいつかきっとゴールにたどり着くんじゃないかなと思ってます。【HJ】

東日本大震災の被災地に思いを寄せてくれた世界中の皆さん、祈ってくれた皆さん、支援して下さった皆さん、駆けつけてくれた皆さん、ありがとうございます。♪踏まれてもなお伸びる道の草 踏まれた後から芽吹いてる 今生きていること 一生懸命生きること♪(合唱曲「明日という日が」より)。道の草=みちのく(道の奥)=東北地方。さんまもワカメも牡蛎も感謝しています。【TS】

震災後10年の節目となりましたが、震災直後に考えていた復興とはかけ離れた現状となっております。しかし、皆様の支援を受け、平穏な暮らしを営める様になりました。皆様と団結し、歩んでまいります。【福島在住S】

全造船関東地協労組とよこはまシティユニオンは、この10年間、毎月11日に「フクシマを忘れない」「原発再稼働反対」を掲げ、駅頭で情宣活動を行ってきました。東日本大震災や原発事故を忘れないためです。そして、労働組合として何ができるのか一緒に考えたいと思います。「福島どころじゃない」「自分の仕事と生活が大変」という方もいるでしょう。そんなあなたこそ、あきらめる前にぜひ、職場の問題をユニオンに相談してください。一緒に解決しましょう！

